



まちなかのいろいろなマークについて 一人一人が理解しておきましょう



障がい者のための国際シンボルマーク

世界共通のマークです。障がい者が利用できる建物やバスなどに表示されています。このマークは「すべての障がい者を対象」としたものであり、車いす使用者に限定して使用されるものではありません。



盲人のための国際シンボルマーク

世界共通のマークです。目の不自由な人にやさしい建物や設備などに表示されています。このマークがついた歩行者用信号機は、目の不自由な人が安全に渡ることができるよう、青信号の時間が長めになっています。



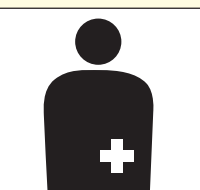
耳マーク

耳の不自由な人が、「わたしは耳が不自由です」ということを相手に知らせるために使用されています。また、このマークを窓口に置いている役所や病院、銀行などは、耳の不自由な人と筆談を行っています。



ほじょ犬マーク

ほじょ犬とは、盲導犬、聴導犬、介助犬のことを言います。ほじょ犬を連れてくる障がい者は、公共施設や駅、バス、電車などはもちろん、デパートやスーパー、ホテル、レストランなどにも、ほじょ犬と一緒に入ることができます。このことを知ってもらうために使用されているマークです。



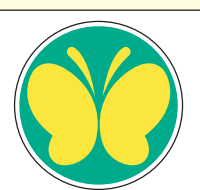
オストメイトマーク

オストメイトとは、腸などの病気が原因で、人工肛門や人工ぼうこうを付けている人のことを言います。このマークはオストメイトの人が安心して利用できる設備のあるトイレの入口に表示されています。



身体障害者標識

車いす使用者など、肢体(手や足など)が不自由な人が運転するクルマに付いています。このマークを付けているクルマに幅寄せや割り込みを行ったドライバーは、道路交通法により罰せられます。



聴覚障害者標識

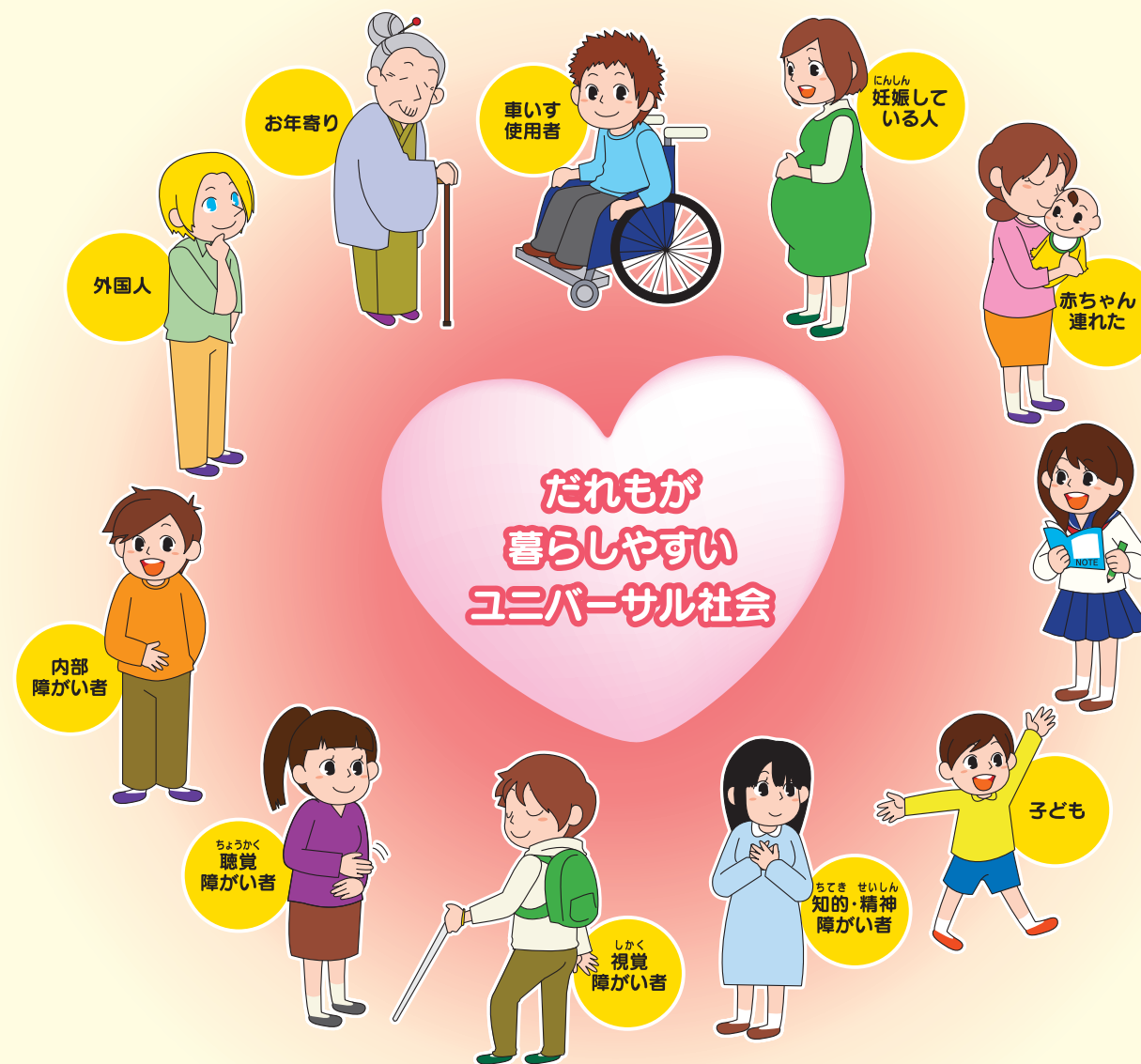
耳の不自由な人が運転するクルマに付いています。このマークを付けているクルマに幅寄せや割り込みを行ったドライバーは、道路交通法により罰せられます。

大分県 福祉保健部 地域福祉推進室

〒870-8501 大分県大分市大手町3丁目1番1号 電話 097-506-2622 FAX 097-506-1732
ホームページ「おおいたユニバーサルデザイン」 <http://www.pref.oita.jp/12030/ud/>

みんなで思いやりのある社会をつくりましょう

ユニバーサル社会の実現に向け



ユニバーサルデザインという言葉を知っていますか？
ユニバーサルデザインとは、「みんなのためのデザイン」という意味です。
「みんなが使えるかな?」、「使いにくいと感じる人はいないかな?」という視点で、だれもが使いやすいものづくりやまちづくりを行うという考え方です。
この考え方が広まり、だれもが暮らしやすい社会のことを「ユニバーサル社会」(共生社会)と呼んでいます。



大分県ユニバーサルデザインシンボルマーク

大分県